

第7回 中札内村景観まちづくり委員会 会議録

日 時 平成26年5月13日（火） 19:00～21:30
場 所 役場庁舎 2階会議室
出席委員 金澤和彦、片山祐二、北島俊之、望月真理、下埜智加
欠席委員 小原早苗、澤田美鈴
アドバイザー 斉藤浩二
事務局 総務課長 阿部雅行、総務課主査 氏家佑介、総務課主事 毛利晋輔

議 事

開 会 19:00

（阿部課長）定刻になりましたので会議を始めます。会議に先立ちまして、4月の人事異動により事務局の職員が変わりましたのでみなさまに紹介いたします。

ー 阿部課長、毛利主事 挨拶 ー

（阿部課長）それでは、以降の進行については会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

（会長）夏が少しずつ近付き、景色のいい季節になってきました。このような素晴らしい景観を是非守っていきたいと思っているところです。住みたいと思える景観づくりをしていくことは、今後の村づくりの大きな指針になると思っています。本日もみなさんの活発な意見をいただき、よりよい景観づくりのために議論していきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

それでは、議案の3番目にあります「景観づくり・なかさつないルール（素案）」の中間報告について、私の方から説明します。4月11日に景観づくりの基本的な考え方をまとめた「景観づくり・なかさつないルール」の素案を村長に提案させていただきました。村長も我々と同じような思いを持っていらっしゃると感じました。

（斉藤アドバイザー）2月の会議で出た意見をまとめ、この素案を作成しました。メインストリートを含む市街地は道条例を順守しながら賑わいを出すイメージです。農村は鉄塔等に関するルールを定めることを盛り込みました。今後は住民説明会をしていくこととなりますが、説明会ではもう少し内容をわかりやすくしたパンフレットを作るということも検討しなければいけないと思っています。

（会長）素案にある農村エリアには看板を設置しないという部分について、住民や事業主の方に理解を得られると思うか皆さんから意見をいただきたいと思います。

(委員) 事業主にとっては看板やのぼりなどの目印は大きな期待を持ってやっていると思うので、難しい部分はあるのかなと思います。押付けではなく、共同して進めていくことが大事だと感じます。

(委員) 看板や広告でも自然に溶け込んでいるものもあるが、どうしても目立つために派手な色を使ったり、高さや大きさを出したりするものが多くなってしまっていると思う。

(委員) 看板がなくても、目的の場所や店をインターネット等で探す手段はある。村に来たからには余裕を持って探すくらいがちょうどいいと思うし、もっとスロウな部分にある価値を売りにしてもいいのでは。

(会長) 看板などを設置しない代わりとして情報を提供するツール等は必要だと思います。

(委員) 帯広などの道路沿いでも看板は多く、情報が多すぎると思う。利用者は果たしてそこまで求めているのか疑問です。また、自然豊かな村の景観を守るためにも、自然環境について理解を深め大切にするという意識付けも必要かもしれません。

(会長) 次に、住民説明会用のパンフレットについて意見を伺いたいと思います。

(斉藤アドバイザー) 説明会を行うにあたって、パンフレットを使用するかどうかも含めて意見を伺いたいです。また、初めに商工会関係者に説明をしてから、住民に説明するのがいいのかなどの進め方についても協議したいと思います。

(会長) スタンスとしては会話をして作り上げていくものだと思っているので、その中で色々な意見をもらって解決していくのがいいのではないかと思います。

(斉藤アドバイザー) 住んでいる人が景観をいいと思えるのが第一だと思います。観光や商工に携わる人だけの景観ではなく、景観のいい場所に住んでいるという意識を持つことが重要ではないでしょうか。

(委員) 村に長く住んでいる人はあまりにも日常的な風景なので、なかなか気付きにくい部分はあるのかもしれない。

(斉藤アドバイザー) 人それぞれの反応はあっても当然だし、そういった価値観の違いを話し合っ
てすり合わせていくことが必要だと思います。

(会長) 難しい部分ではありますが、住民説明会では、お互いの価値観のすり合わせをしていく方向で進めたいと思います。伝えたい目標などをわかりやすく説明したものをこちらで用意します。

(斉藤アドバイザー) なかさつない百景の実施方法などについて皆さんから意見を伺いたいと思います。

(委員) 百景というのは多い気がします。

(委員) コンテストに出るようなきれいな場所だけではなく、何気ない暮らしの風景を切り取った写真の方が、心を惹きつけると思います。たとえば、テーマをずっと残したい風景として応募してみるのもいいかもしれません。また、賞については見てもらった人に投票をして決めてもらうという方法はどうでしょうか。

(委員) 応募したものについては、すべて見られるようにしたい。ホームページ等に載せるのも手段かなと思います。

(会長) 甲乙つけるのが目的ではなく、あくまで技術など問わず自由に応募してもらうという方向性でいきたいと思います。投票によって選ばれた写真は最終的にカレンダーにする予定です。詳細は事務局の方でまとめてもらうということをお願いします。

(斉藤アドバイザー) 次にこども景観ワークショップについての意見を伺いたいと思います。

(委員) お絵かき大会のようなものがわかりやすいのではないかと思います。村内のデザイナーが主導になって進めるというのも面白いかもしれません。

(委員) どこか好きな場所へ行って、自由に写真や絵を描くというのもいいと思います。

(委員) 中札内小学校でシーニックバイウェイの関連事業として授業を行うので、その時間と一緒に取り組むというやり方もあるかと思います。

(会長) シーニックバイウェイの事業とうまく関連できるのであれば、一緒にやる方向性でいきたいと思います。学校との調整については委員と事務局にお願いし、事務局で案の作成をお願いします。

その他に、皆さんから何かあれば伺います。

－ 意見なし －

(会長) それでは本日の委員会についてはこれで終了とさせていただきます。次回委員会については、6月24日（火）に開催しますのでよろしくお願いいたします。

閉 会 21：30